



# 藤本 みのる 通信

Vol 382

2021年11月17日発行

大月市議会議員



自宅 大月市猿橋町小篠 8 5 3

電話/FAX 0 5 5 4 - 5 6 - 7 2 7 2

## 環境省補助金の返還

16日の議員定例懇談会で、平成28年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金の返還について報告がありました。経過は右の通りですが、残念ながら「現状では木材調達に難しい」ということで、林業担い手不足が浮き彫りとなりました。

大月市の森林面積は約85%で、民有林と公有林が半々。林業は大変な仕事であり、国土の環境維持には欠かせない仕事。林業就業者の育成確保を岩手県など先進県の取組に学び思い切って進めることが必要です。森林環境譲与税の活用計画を立てれば10年20年間の林業が見えてくるはず。東京都が進めている杉花粉の出ない樹種への植え替え事業では長期発注となり林業会社でも新規採用の計画も出てきます。さらに、個人で自分の山の木を伐採する「自伐型林業」の育成、軽トラで運び込まれた木材を買い取る「木の駅事業」など市民・住民が参加できる事業を進めることも、改めて検討を求めたいと思います。

### 経過

○2016年度に環境省の補助を受け、木質バイオマス発電所への供給を念頭に、森林資源賦存量、長期安定利用可能量等を調査し、再生可能エネルギー導入計画（大月市主体でチップ工場建設）を作成  
委託金額 1458万円（全額国庫補助金）

○2020年3月の会計実地検査で、「事業実施後3年以上経過しても設備の導入がされていない現状は補助金交付決定の取り消し事由にあたる」と指摘を受ける。木質バイオマス発電所の商業運転に合わせて2018年10月には民間林業会社がチップ製造

○是正計画（大月市が設備を導入しチップを増産する）の実行により補助金返還を免れる予定であったが、是正計画の数値目標（1.8万トン増産）達成が困難であることが判明し断念。補助金を返還することになった

### 木材調達に難 林業担い手不足

大月市森林組合が人手不足で対応が困難であり、市内産材の活用ができない

## 【藤本みのる活動日誌】

10月25日(月) 山梨県後期高齢者医療広域連合議会定例会

11月 1日(月) 市議会広報委員会

11月16日(火) 議員定例懇談会